

かんきつの貯蔵病害防除に

クミアイ

トップジンM[®] 水和剤

きれいが
長もちが。



青かび病・緑かび病などの
貯蔵病害は、油断は大敵です。
収穫前の散布で確実に予防しましょう。
トップジンMは、
安定した効果で長期間にわたって
輸送中・貯蔵中の果実腐敗を防止します。
しかも経済的で薬害の心配が少なく、
ほとんどの薬剤と混用できるのも、
大きな特長です。

かんきつに
「収穫前日まで」
使用できます。

●使用前にラベルをよくお読みください。●ラベルの記載以外には、使用しないでください。●小児の手の届く所には、置かないでください。
●空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。●防除日誌を記帳しましょう。

2446(24-11)



【試験成績(抜粋)】

■愛媛県立果樹試験場（1991～1992年度）

～スプリンクラー散布での検討～

品種：宮内伊予柑、試験法：虐待試験

緑かび病・青かび病及び合計（その他病害を含む）

— 緑かび病・青かび病
— 合計（その他病害を含む）

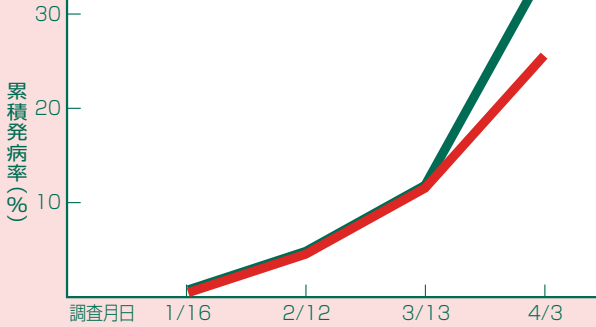
A.手散布



B.スプリンクラー散布



C.無処理



〔考察〕 トップジンM水和剤2,000倍+ヘタ落ち防止剤3,000倍のスプリンクラー散布は緑かび病などの発生をよく抑え、ヘタ落ち防止剤の効果（ヘタの変色・枯死の抑制）も認められ、薬害もなく貯蔵病害防除に対して実用性ありと判断される。

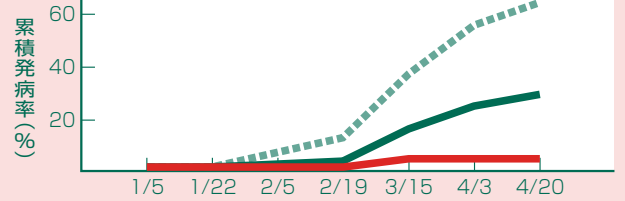
■和歌山県果樹試験場（1989～1990年度）

品種：温州みかん（黒点病多発生圃場）、試験法：長期貯蔵試験

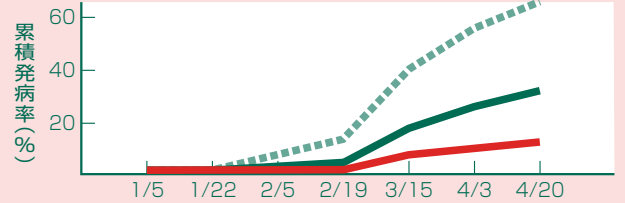
●緑かび病・青かび病



●軸腐病



●合計（その他病害を含む）

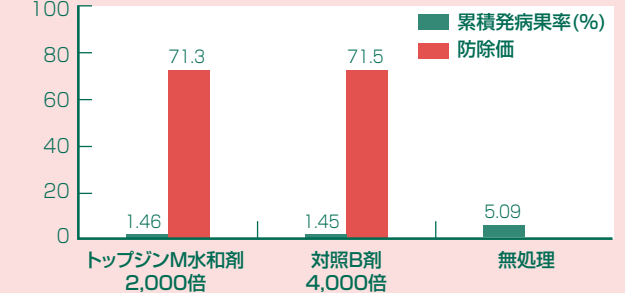


〔考察〕 トップジンM水和剤は、貯蔵中の2月中旬ごろから増加した軸腐病の発生をよく抑え、高い防除効果を示した。貯蔵かんきつには不可欠な薬剤と考えられる。

■佐賀県上場営農センター（2018年度）

品種：興津早生、試験法：動力散布機を用いて、10ℓ/樹を散布

●黒斑病



〔考察〕 トップジンM水和剤2,000倍は、少発生下の試験で対象B剤と同等の効果を示した。このため、実用性はあると判断した。

【適用病害と使用方法】(抜粋)

*印は、収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫前日数と、本剤及びチオファネートメチルを含む農薬の総使用回数の制限を示します。

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期*	総使用回数*		使用方法	
					本剤	チオファネートメチル		
みかん	そうか病	30	8ℓ/10a	4～6月	5回	8回 (塗布は3回、散布、空中散布及び無人航空機散布は合計5回)	空中散布	
	灰色かび病、そうか病	1,000～1,500	200～700 ℓ/10a	前日			8回 (塗布は3回、散布及び無人航空機散布は合計5回)	散布
	貯蔵病害(黒斑病)	2,000						
かんきつ (みかんを除く)	貯蔵病害(青かび病、緑かび病、軸腐病)	2,000～3,000	200～700 ℓ/10a	前日	5回	8回 (塗布は3回、散布及び無人航空機散布は合計5回)	散布	
	貯蔵病害(黒斑病)	2,000						

※収穫前3週間以内(かんきつ(みかんを除く)の場合には収穫前2～3週間以内)に1回散布すると効果的です。

※本剤を使用した場合には、ペノミルを含む剤を使用しないでください。ただし、種子への処理、種籾への処理及び塗布処理は除きます。

※本資料は2024年11月現在の登録内容に基づいています。